

活動報告（令和 2 年）

1 戦史関連研究会等

(1) 戦争史研究国際フォーラム

例年 9 月に開催している本フォーラムについて、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和 3 年 3 月 3 日(水)に延期して開催を予定するとともに、感染防止策として、オンライン講演の導入、聴講者の限定等を行う予定である(12 月 20 日現在)。

(2) 日独、日韓及び日露戦史研究交流ならびに日独戦史共同研究

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う移動制限のため、双方合意の上で中止した。

(3) 研究会

実施日	題 目	講 演 者
3 月 18 日 (水)	日米開戦における意思決定：経済抗戦力調査の観点から	摂南大学経済学部准教授 牧野 邦昭
12 月 18 日 (金)	近代史の転換期における軍事力行使の意義と教訓－第一次上海事変の軍事と外交を中心として－	元防衛大学校教授 ・ 図書館長 影山好一郎

2 令和 2 年度戦史史料編さん

(1) 戦後史関連の戦史史料編さん

戦後史関連の戦史史料編さんは、オーラル・ヒストリー（口述記録の作成）の編さんに取り組んでおり、本年度末に①「日本の安全保障と防衛力（その 8）：元統合幕僚会議議長・竹河内捷次」、②「日本の安全保障と防衛力（その 9）：元海上幕僚長・藤田幸生」の刊行を予定している。

(2) 『湾岸戦争史』の刊行

平成 28 年度から令和 2 年度にかけて国際紛争史研究室を中心として実施した湾岸戦争に関する調査研究を基に編さんし、年度末に刊行を予定している。

本書は現在入手可能な資料を基に、主に軍事的側面を中心として編さんしたものである。

執筆にあたっては各種資料等から事実関係を整理して記述するよう努めている。

3 戦史史料の閲覧

防衛研究所は、戦史史料（旧陸海軍関係の公文書類等）を平日 9 時から 16 時 30 分まで、戦史研究センター史料閲覧室において一般に公開している。しかし新型コロナウイルス対策のため令和 2 年 2 月 28 日から閉館となった。6 月 8 日以降、閲覧を再開したが、感染拡大防止のため人数を制限し、予約者を優先している。なお 2 月から土曜開館を月 1 回のペースで実施している。

調査研究のために閲覧を希望する者は、予約をした後に、所定の手続きをとって誰でも閲覧することができる。予約・閲覧方法等については、防衛研究所史料閲覧室のホームページ (http://www.nids.mod.go.jp/military_archives/) を参照。また、一部の戦史史料については本ホームページから閲覧が可能となっている。

令和 2 年の閲覧者総数は 1,308 名であり、月別閲覧者数は下表のとおりである。

月	1	2	3	4
閲覧者数	204	161	0	0
月	5	6	7	8
閲覧者数	0	133	160	158
月	9	10	11	12
閲覧者数	113	105	137	137

4 レファレンス

防衛研究所は、主に戦史研究センター史料閲覧室を窓口として、戦史史料の検索、特定の戦史史料の内容に関する情報提供、戦史史料に関する参考文献及び専門的調査機関等に関する情報提供を行っている。

令和 2 年のレファレンス統計は以下のとおりである。

(1) 要求件数

総件数は 955 件であった。月別件数は下表のとおりである。

月	1	2	3	4
要求件数	100	79	70	48
月	5	6	7	8
要求件数	43	95	110	100

戦史研究年報 第24号

月	9	10	11	12
要求件数	103	73	66	68

(2) 海外からの要求件数

総件数は11件（閲覧者数含む）であった。

国	オーストラリア	アメリカ	フランス	ロシア
要求件数	3	6	1	1

(3) 質問内容

質問内容	戦争指導	作戦戦闘	部隊史	個人歴	制度	兵器
要求件数	16	81	168	183	45	52
質問内容	軍事施設	服装記章	教範用語	教育訓練	情報	兵站補給
要求件数	46	10	29	25	5	6
質問内容	研究開発	戦史史料	自衛隊史	戦史叢書	外国戦史	その他
要求件数	8	182	3	11	3	82

(4) 陸海軍別

国	陸軍	海軍	共通	その他
要求件数	523	247	123	62